

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	せんだんの杜遊杜家		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 24日		～ 令和8年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		～ 令和8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各ご家庭の状況やご希望に応じたご利用への対応や送迎対応を行なっている。	可能な範囲で保護者様からのご希望に沿うことができるよう柔軟に対応している。 送迎場所や送迎時間等は保護者様の就労状況やご兄弟への対応等に配慮して支援を行なっている。	今後も継続して支援ができるよう、送迎コースの調整や業務改善等を行なっていく。
2	保護者様同士が交流する機会を定期的に設けている。	保護者様への申し送りを通して、保護者様の不安や悩み等を丁寧に聞き取るよう対応している。 保護者様からいただいた意見等をもとに行事内容を検討し、実施している。	より多くの保護者様が参加出来るよう、年間計画を設定する際に日程調整を行なう。 今後も申し送り等の際に保護者様のニーズ把握をしていく。 保護者様同士の交流だけでなく、研修会等に繋げられるよう努めていく。
3	活動プログラムが固定化しないよう、月毎に目標やねらい等を設定し、週単位で活動の立案を行っている。	・日々の打ち合わせ等で活動プログラムを細かく確認・共有している。 ・放課後等デイサービス「4つの活動」「5領域」を確認しながら立案している。 ・ご利用者様の興味関心に合った活動プログラムを設定している。	・今後も活動プログラムが固定しないよう、日々の打ち合わせで内容を丁寧に確認・検討していく。 ・職員も様々な研修等に参加し学び、ご利用者様や保護者様へニーズに沿った様々な活動の機会を提供していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民や地域の関係機関との交流の機会が設けられていない。	・児童館等と交流する機会が設けられていない。 ・地域の関係機関等が開催しているネットワーク会議等に事業所に所属する職員が出席できていない。	・児童館等と連絡調整をして子ども達同士が交流できる活動や行事等を設定し、交流を図る。 ・地域の関係機関等が開催しているネットワーク会議等に、積極的に出席する。
2	保護者様同士(兄弟)の関り。	・年に数回の交流する機会は作っているものの、保護者様同士が顔を合わせる機会が少ないこと。 ・保護者様や、ご兄弟が参加できるイベントが少ないこと。	・保護者交流会を開催し、保護者様同士の関りや相談の場を提供していく。 ・定期的に親子や兄弟参加型のイベントを企画していく。
3			